

デジタルカメラの

やさしい写真術

今さら 聞けない？

いいえ、いつでも聞けますよ。こんなこと あんなこと？

☆カメラについての 基礎的な事を 学びましょうね！



28.4.5撮影

主 催 道写協旭川支部 31年3月

写真を撮る

ということは？

○カメラを使って 物を撮影したい ということは どういうことなのでしょう？

- ・カメラのファインダーを通して 見た世界なのか
- ・眼の前の世界を見て感じたことの 世界なのか

● 感じたままを撮りたいと言いつつ ファインダー内の像を 追いかけている

先ずは 対象物(花や景色・動物)を自分の眼で見て 堪能すること (美しい・きれい……!)

次には 自分を観察し 自分がどこに心を惹かれ奪われたのかの ポイントを絞る
(何処を どのように 切り取り こんな感動やイメージを伝えたい)

その次に初めて

やおらカメラを出して ピント・露出・感度 を調節して 構図を確認し シャッターを押す
(これらのことは 文章にすると長いけれど 数秒のうちに判断して 実行する行為ですね)

・「良い写真を撮りたい」「良い作品を作りたい」なら よく観てじっくりと 観察することですね
しかも その場で見た印象や感動が 心に強く残っていると、作品を作る方向性がしっかりと
決まり 作者に自覚が出来るのです。

・まずは ファインダーをのぞく前に 自分の眼でよく
観て 心で感じておくことです。

・すなわち 対象物と向き合い 何処を撮ってほしい
のか 語りかける気持ちを わすれずに……

○ 作品作りへの 近道へとなるのですね。



☆デジタル時代となり撮影する視線が どう変わって来たか

- 一億総カメラマンの時代ともいえる現代となっている
- いろいろな機種が たくさん出ている (携帯 スマホ タブレット 等など)
- 自撮り棒などの 周辺器具の発売 ・さまざまなアタックがある

★一番多く撮ってきた写真ランキング (ある統計から)

- 1、ネイチャー(風景や花) ……旅先の景色、何気ない場所の景色、季節ごとの絶景
- 2、ポートレート (人物等) …… 子ども、孫、家族 友人
- 3、食べ物 …… 旅先の食事、日常生活の食事 (ブログなどの活用)
- 4、記念撮影 …… 家族の節目の行事、旅先の写真、訪問の記録写真
- 5、その他 …… 縦位置の写真、アップの写真、自分以外の写真
アートの写真、ブログ用の写真、ボケ気味の写真
肖像権が気になるので人物以外の写真



- ネイチャー写真は 変わらぬ人気があるようです。
- デジタル時代の到来で 、被写体がふえました。
- 時代を反映して撮影者の視線が 多様化するとともに
カメラも多様化し それぞれに写真を楽しんでいます。
・表現の流れが 大きく変化してきている……感性を磨く!

※自分は 何を撮りたいのか? テーマなどを決めて…



○ カメラのしくみを知る

・自分のカメラをよく知る ことが大切です

・自分のカメラが どんな仕組みで どんな役目のものがついているのかを
先ず 知ることが大切です。(一眼レフカメラ・コンパクトカメラ)

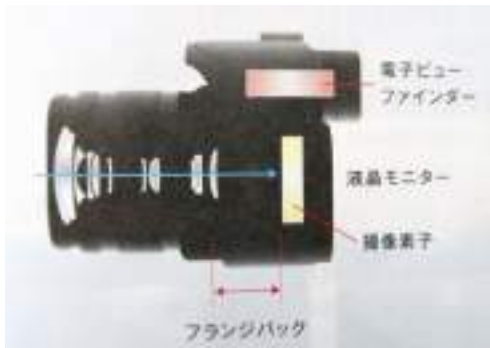
・35ミリのカメラ

・ミラーレスカメラ

・カメラの構造



・ミラー、ペンタプリズムがない



・ダイヤルの表示 つかい方



「全自動」だと自動発光



「P」なら自動発光しない

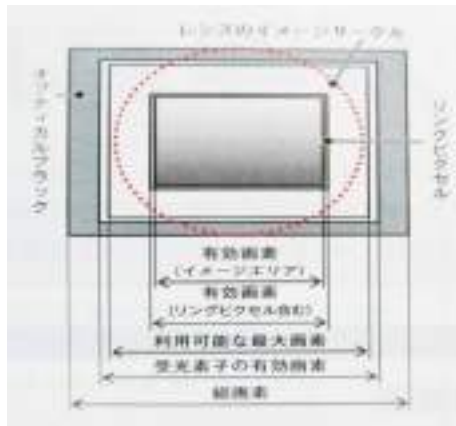


・注意する事

○カメラについている
ダイヤル表示の意味を
よく理解して、目的に
合った表示に合わせる
ことが 大切です

○カメラの仕組みについて

・総画素数・有効画素数



・ライブビュー撮影 (・ファインダーを覗かない撮影) ・コンパクトカメラが多い



- ・モニターを見ながら撮影
- ・ファインダーより電池消費早い
- ・ライブビューの画面タッチして シャッターを切ることもできるものあり

・電子ビューファインダー(EVF)

- ・ミラーレスカメラでファインダーを覗き シャッターを切る。高性能
- ・ファインダーで見たままの映像が 写し取れる。
- ・露出補正も 補正ダイヤルを回しながら 目視確認しながらシャッターを 押すことができる。
- ・ファインダーは、きれいな描写であり、高性能である

○撮像素子とは (CCD,CMOSセンサー)



ミラー



撮像素子

そもそも画素とは？



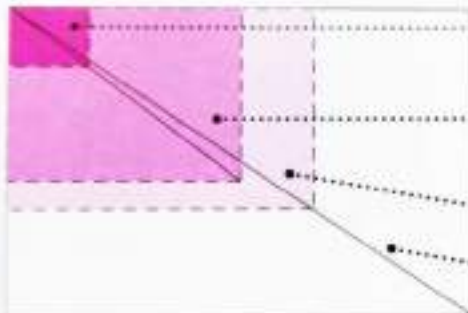
撮像素子のおおきさ

- ・5472 × 3648 (キヤノン)
- ・5568 × 3712 (ニコン)

○○万画素(総画素数・有効画素数)

- ・2020万画素 EOS7DマークII
- ・2088万画素 ニコンD500

○多いほど精密度が高くなる。しかしカードに書き込みが遅くなる。



- コンパクトデジタルカメラ 1/2.3型 (4.6×6.2mm)
- フォーサーズ・マイクロフォーサーズ (13.5×18mm)
- APS-C (15.6×23.7mm)
- フルサイズ (24×36mm)

※このサイズはカメラメーカーや機種によって若干異なる場合があります。

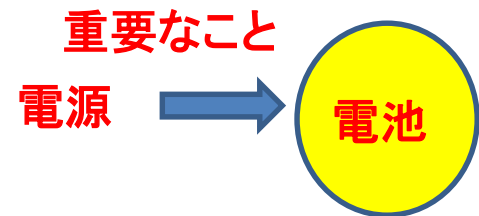
今は 便利なデジタルカメラの時代

1 ファイルは使わないので 費用がかからない

- ・メモリーカード・・・消して何回も使用
- ・保存も楽にできる
- ・外付けハードデスク

2 撮影した写真が その場で見える

- ・液晶モニターで確認
- ・すぐ撮り直しができる

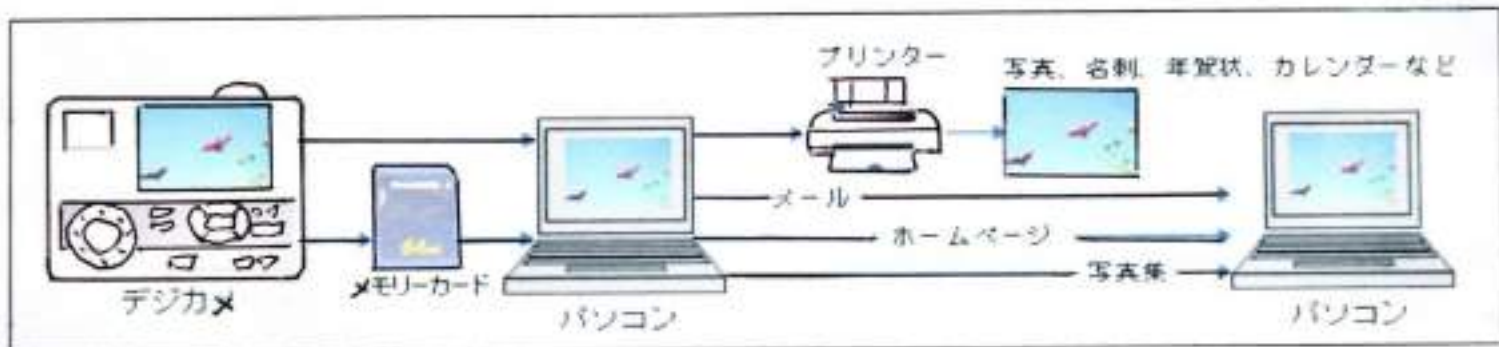


3 自分でプリントが出来る

- ・プリンターで印刷
- ・自動プリント
- ・保存
- ・パソコンの中に残す

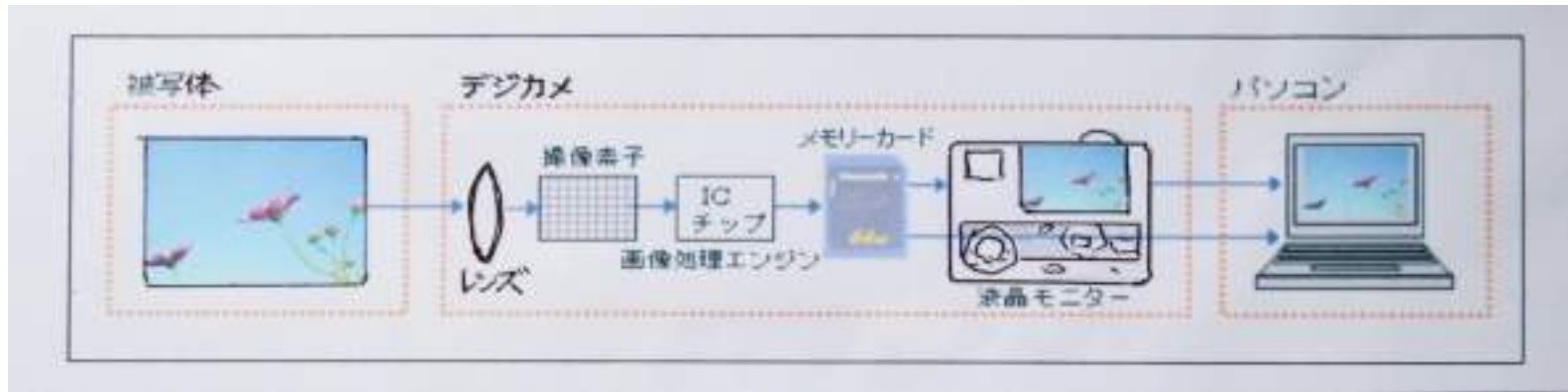
4 パソコンで いろいろと楽しめる (情報交流)

- ・メール
- ・ホームページ
- ・インターネット
- ・スマホ
- ・タブレット
- ・フェイスブック

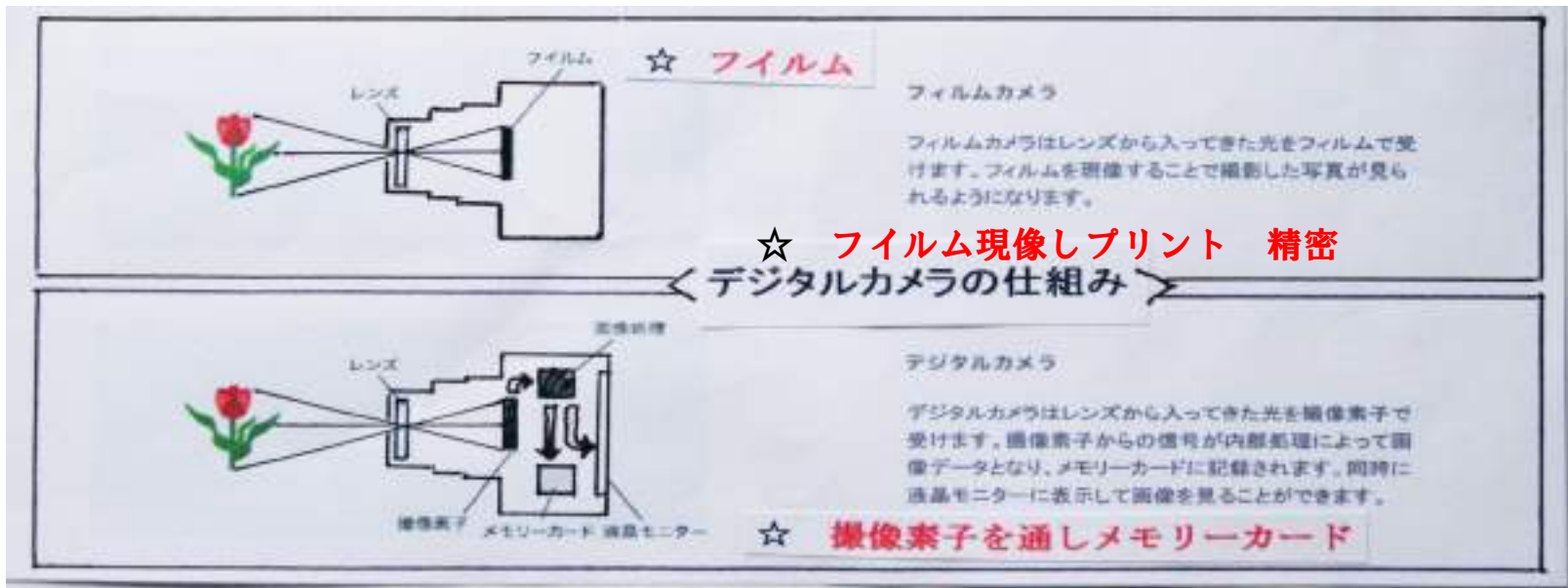


デジタルカメラの仕組み

- SDカード ・XQD・SDHC・SDXC
- CFカード(コンパクトフラッシュカード) サンディスク



※デジカメとフィルムカメラとの違い



買った時のままで 写してみる

・いよいよ撮影!

1 撮影に当たり まずやることは

- ・電池を充電し カメラに入れる
- ・メモリーカードを入れる

2 手順は

☆ 撮影モード

- ・電源をON
- ・モードスイッチを撮影にする
- ・液晶モニター(ファインダー)を見て 構図を決める (シーンモードを選ぶ)
- ・シャッターボタン半押し、ピントを合わせる ピピと音が鳴る

この時 露出 (絞りとシャッタースピード) を計算して準備している

- ・更に深く押して シャッターを切る (手振れに注意を)
- ・三脚やカメラと体を一つにする
- ・シャッターを切っても 少しそのままにいること

☆ 再生モード

- ・モードスイッチを 再生モードにし 液晶モニターで写真を確認して見る
- ・消去するときは 消去ボタンを押して「一コマ」or「全コマ」を選び消す
一度消したら戻らないので要注意

カメラを自分の好みに設定する

少し詳しく 触ってみる

1 カメラの設定は 自分の目的に合わせて 設定しておく

- ・ボタンやいろいろの設定があるので すぐ使えるように しておく

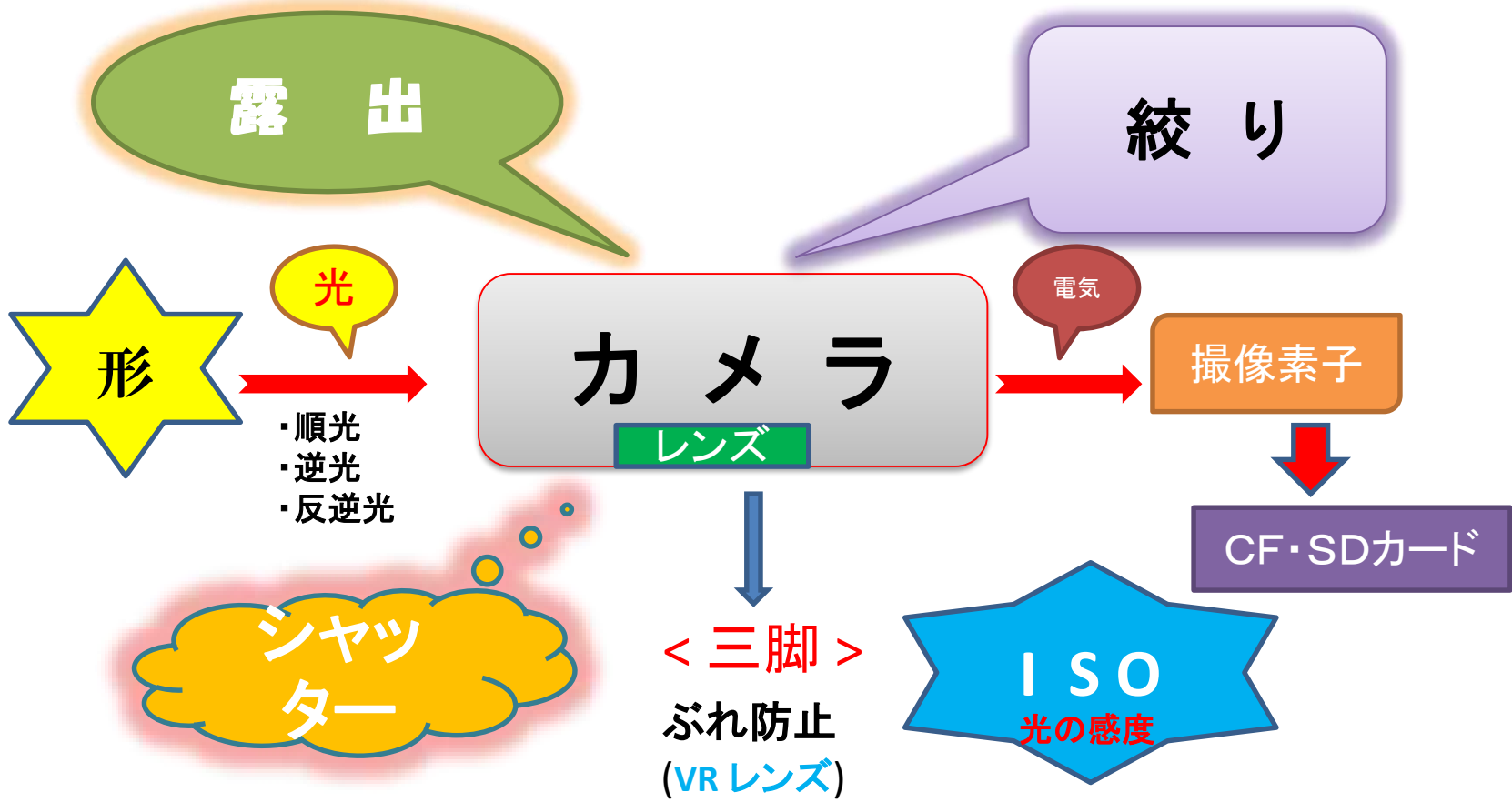
2 設定の項目は

- 日付時刻 ・購入当初電池入れたとき ・ 写真に記録することも
- 画像サイズ ・大きいサイズのほうがよい (きれい) ・枚数は少なくなる
- 画 質 ・圧縮は低く 高画質 ・記録枚数は 高画質ほど少なくなる

ここまでは 1回設定すれば OK 後は必要に応じて変更を

- 撮影モード ・オートでもよい ・シーンに合わせて随時変更する
・マニュアルモードのある場合は その都度変更をすると良い
- フラッシュ ・オートのもあり ・発行禁止のところもあるので注意!
- ISO感度 ・初期設定でもいいが 必要に応じて変更を (200から400)
・高くなると荒れる 低いと絞り開き シャッターが遅くなる
- ホワイトバランス ・初期設定でもいいが・・・
・朝 昼 夕方 とか シーンに合わせて設定
- 露出補正 ・被写体によって 明るい暗いがあり +や-に1~2に上げ下げする

どんな関係があるの？



詳しく確かめてみましょうね！

カメラで撮影される仕組み

○画像形式

・JPEG、(JPG)・・・多くのデジタルカメラで採用のファイル。多くの光の情報を圧縮して、1枚のカードに収めるために必要なデータだけを引き出して写真にします。圧縮しても比較的に高品質で写真にできます。何回も取り出し加工すると 画像が劣化していきます。

・RAW・・・写真になる前の生のデータです。其のままで保存は出来ませんが、絵が見えません。そこで ソフトを使い現像をして 絵に変換するのです。今はカメラ内で現像もできるようになりました。元の画像は何回取り出して加工しても劣化はありません。

・TIFF・・・これもJPEGと同様ですが劣化は少し違います。

・動画は・・・モーションJPEG (圧縮して記録) ハイビジョンテレビの規格でAVCHDの規格です。



露出の仕組み

・絞りとシャッターの関係は

・水の量 (光) ・開ける時間 (シャッター)

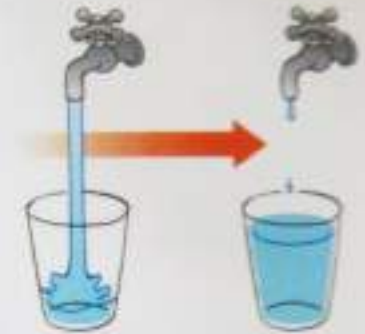
・水は適性露出 (露出)

水道の水をいっぱい出す = 絞りを開ける



短い時間でコップがいっぱいになる

↓
速いシャッター速度で
適正露出になる



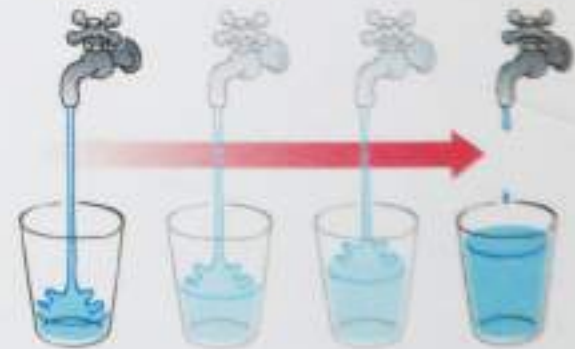
同じ露出

水道の水を少し出す = 絞りを絞る



コップがいっぱいになるまで
時間がかかる

↓
遅いシャッター速度で
適正露出になる



○絞りとシャッター速度の関係

①絞り
=露光量

数枚の絞り羽根で構成され、穴を広げたりすぼめたりすることで、光の入る量をコントロールしている。



絞りを開ける
(F値を小さくする) 1度にたくさんの光を取り込める。



絞りを絞る
(F値を大きくする) 1度に少ししか光を取り込めない。

②シャッター速度
=露光時間

シャッターを開閉する速度や、すき間の開き具合で、撮像素子に光を当てる時間の長さを調節している。



低速シャッター
幕の開きが大きいため、たくさんの光を取り込める。



高速シャッター
幕の開きが小さいため、少ししか光を取り込めない。

③ISO感度
=光に対する感度

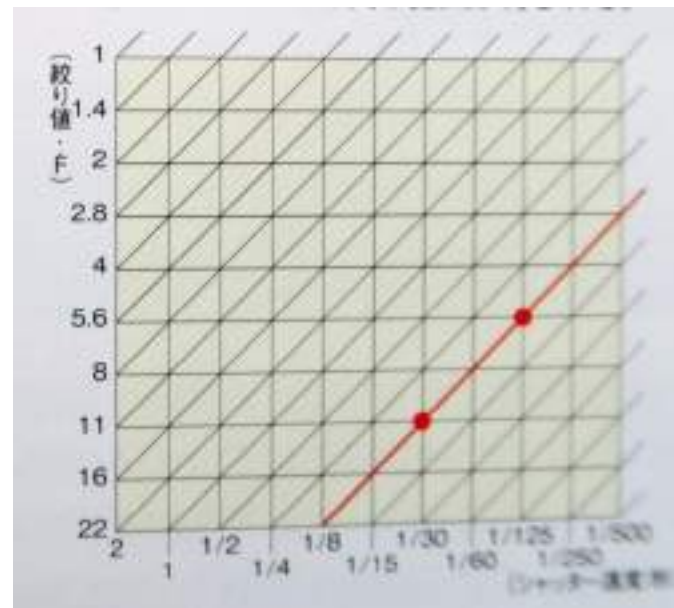
ISO感度は撮像素子が光を感じる度合い。数値が小さいほど鈍感に、大きいほど敏感になる。



高感度
光に敏感なので、1度にたくさんの光を取り込める。



低感度
光に鈍感なので、少しの光しか取り込めない。



プログラムシフト機能で変化するシャッター速度と絞りの例

シャッター速度	絞り (F値)
1/60秒	F16
1/125秒	F11
1/250秒	F8
1/500秒	F5.6
1/1000秒	F4

例えば、シャッターボタンを半押ししたときにカメラが示したシャッター速度が「1/250秒、F8」だった場合、ダイヤルを回して絞りをF4に変更すると、シャッター速度は連動して自動で1/1000秒に設定される。

詳しく 露出とは？

- わかりやすく言うと「光の量」という意味です。写真を撮るうえで、最も重要な要素の一つです。撮影者が調節できて、露出オーバー(光の量が多い白っぽい写真)や露出アンダー(光の量が少なく暗めの写真)になります。適正な露出ならば 適正で見やすい写真になります。



- 適正露出の写真を撮るように心がけること
露出オーバー(ハイキー)や露出アンダー(ローキー)でも 失敗とはいえず 味わいが出てくることもあります。





露出の決め方

○ では どのようにして 露出は(光の量)を決めるのか



各カメラメーカーによって呼称が違いますが例えばキヤノンなら「全自動」や「プログラムAE」などがそれに当たります。カメラの上部にあるモードダイヤルを「全自動」や「プログラムAE」に合わせると自分で調整しなくても適正露出で写真が撮れます。

・全自動 ・プログラムAE ・シーン別撮影

M (マニュアル) AV(絞り優先) TV(シャッター優先)

全自動やプログラムAE といったモードでも良いが、自分のイメージした写真を撮るならば、露出を(光の量)を 学ぶことが必要です。(赤文字の部分マスターする)

○ **露出**は(光の量) 「**絞り**」 「**シャッター速度**」 「**ISO感度**」の三つの要素の組み合わせで、写し撮る写真の映像が決定し、記録 されます。

○絞りは レンズを通過する光の穴を 調節することです。

- シャッター速度..... シャッターが開いてシャッターが閉まるまでの時間(光を受け取る時間) 1/60 /125....
- 絞 り レンズを通過する光の量を調節する羽根の機構(上の図を見る) F4.5 F8
- ISO感度..... 光をどれだけ敏感に受け取れるかという感度 100 400 800

光の穴を調節するとは穴が大きければ一度にたくさんの光量を取り込むことができ、穴が小さければ取り込む光量は少なくなります。つまりシャッター速度が同じならば小さい穴より大きな穴のほうが明るい写真になるということです。

レンズ内部の絞りを正面から見た図



穴が大きいため
たくさんの光量を取り込める
F値が小さい



少し絞るとその分だけ
光が通過する量が少なくなる



かなり絞り込んだ状態
光量はわずかしか通過しない
F値が大きい

絞りの調整値を「絞り値」といい、「F値」で表現されます。
このF値の数字が小さいほど光が通過する穴が大きくて明るい写真になり、
F値の数字が大きいほど光が通過する穴が小さくて暗い写真になります。

F値もシャッタースピードと同じく基本は1段刻みで覚えます。
前回のステップでも説明しましたが1段とは露出が半分になったり倍になったりする幅のことです。



(通常カメラの設定は1/3段刻みになっているものが多いです。例えばF4とF5.6の間にはF4.5とF5が組み込まれていて細かい絞りが設定できます)

・露出補正 (光の量を調節する・・・-1、-2、+1、+2 等
又は -0.3、-0.7、-1 +0.3、+0.7 +1.0)

・黒いものを黒く白いものを白くするために、カメラの露出計が誤ってしまう場合。
光の入る量を 調節する事が必要です。



・光が多いと感知し 絞りを絞る



○水面反射、ガラスの反射、青空
・PLフィルター

・プラス補正することが必要(白く)



・光が少ないと感知し 絞りを開く



○ふんわりソフトな表現は
・ソフトフィルター

・マイナス補正することが必要(黒く)

絞りと被写界深度について

○被写界深度とは？ 撮影するとき **ピントが合う範囲**のことです。

絞りを開けると（F値を小さくすると）被写界深度は 浅くなる。（ピントのあう範囲が浅くなる）

絞りを絞ると（F値を大きくすると）被写界深度は 深くなる。（ピントの合う範囲が広がる）



F2.8

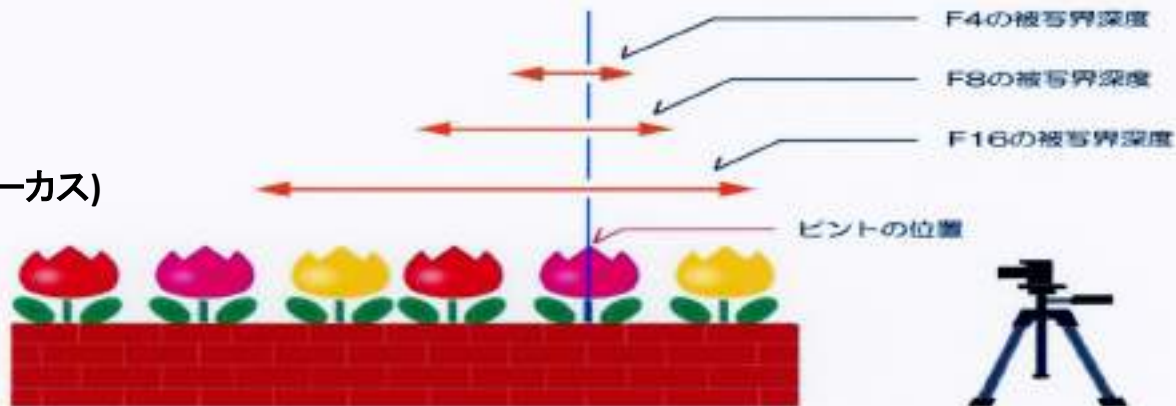
絞り開放なので被写界深度は浅くピントを合わせた花びらしかくっきり見えません



F22

かなり絞り込んでいるので被写界深度は深く花びらだけでなく背景までくっきり見えます

(パンフォーカス)

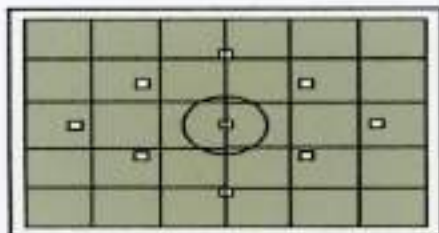


露出の測り方（測光モードの選択）

○露出を図ることを 測光といいます。（光の量を図る）

カメラには その光を図る機能が4つあります。測り方によって 露出の量が変わります。

○被写体に狙いを定めて ファインダーをのぞくとファインダー内の四角の 中に 明るいところや暗いところが見えますね。どこを基準にして 露出を決めるかで 写真の仕上がりが大きく変わります。



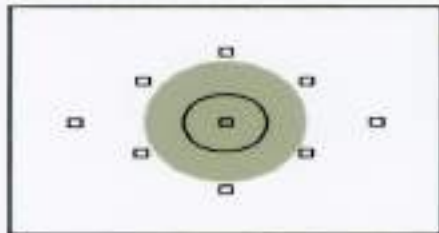
多分割測光

写る部分を複数に分割して全体的な露出を決定する測光モード。キヤノンでは「評価測光」、ニコンでは「マルチパターン測光」と呼んでいます。画面全体を考慮して露出を決定するのでどのような被写体でも、また被写体に大きな明暗差があっても、適正露出が得られやすいという利点があります。



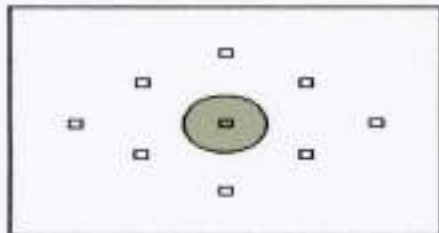
中央部重点測光

名前の通り画面の中央部を重点的に測光するモード。画面内の中央部分に重点を置いて、画面全体の平均的な明るさを測ります。被写体が画面の中央に集まっている時にこの中央部重点測光を用いますが、被写体と背景の明暗差が大きい場合や逆光時、主要被写体が画面の中央部分にない場合は適正な露出にならない場合があります。



部分測光

画面中央部（約10パーセント）を測光する方式。測光した中央部約10パーセントは適正な露出になる。逆光など被写体のまわりに強い光がある場合に有効です。



スポット測光

画面中央部のごく一部分のみ（1〜3%前後）を測光する方式。測光する部分の反射率を計算しなければならないがマスター露出においてかなり上級者になります。露出をカメラ任せにせず自分ではじき出したい人にオススメの方式です。

・この中にピントを合わせる機能が含まれている。90点以上のフォーカスポイントやエリアの選択等また追従してピントを合わせる仕組みあり。素早い反応をして測光・ピントを合わせる

・今は ピント合わせる測離点が多くあるのが普通である

フォーカス ロック

・ピントを合わせたいところに測距点がない時、カメラを移動し ピントを合わせたいところへ持っていき シャッターボタンを半押し、そのままカメラを戻して 元の構図にして シャッターを切る

パンフォーカスに

・目立つものに合わせて絞り込む、全体にピントが合うこと



F16 標準レンズ

・遠近感を出したい時
(前景をシャープに)



F11 広角レンズ

ピントと絞りの関係



・はな の しん



ぼかす(ソフト)



・うしろ ぼけ



・まえ ぼけ

・丸ぼけ効果



・絞りで調節

葉の間の隙間から光が見えるところ

・花から離れている

・バックの色による効果(印象の違い)



望遠レンズでの効果

- ・網とフクロウが離れていること
- ・網とレンズが 近いこと



・網目あり



(長い望遠レンズで……)



・網目消える

○主役と脇役 背景のバックの処理



階調補正 明暗差の大きい時 ・白とび・黒潰れを防ぐ

- ・アクティブDライティング(ニコン)、Dレンジオプティマイザー(キヤノン)

明るい部分を適正にした写真



暗い部分を適正にした写真



階調補正した写真の例



デジタルカメラは肉眼よりも表現できる明るさの幅が狭い

デジタルカメラが1度に再現できる明るさの幅(ダイナミックレンジ)は、肉眼よりも実ははるかに狭い。明暗差が大きいと暗いところに露出を合わせれば明るい部分はとんでしまうし、明るいところに合わせれば暗い部分はつぶれてしまう。

HDR機能での撮影 (大きな明暗差でも対応)

- ・明暗の幅(ハイダイナミックレンジ)を より広く表現する。(カメラ内で数枚を合成する)

オーバー露出



適正露出



アンダー露出



3枚を合成

カメラの限界を超えた 階調表現が可能になる

自動的に露出の異なる3枚を高速連写で撮影。それを1枚に合成して、白とびや黒つぶれのない階調豊かな画像を生成するのが「オートHDR」。うまく使いこなすと独特な映像表現が可能になる。

オートHDRオン



ホワイトバランス



- ・白いものを白く、黒いものを黒く表現すること(18パーセントの反射率の用紙 灰色)

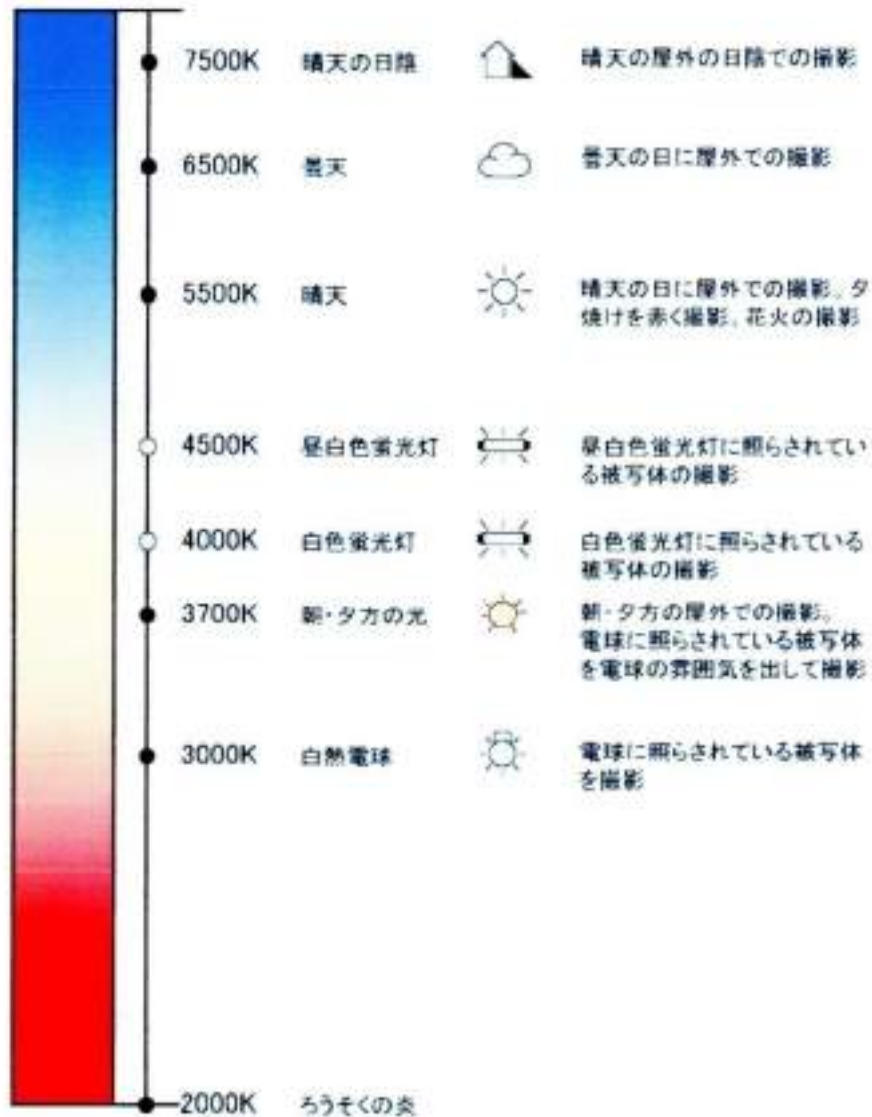
- ・光源の物体の発する光の色によって 映る色が異なるので 補正することが必要になる。
- ・カメラでは 発する色に合わせて 撮影することが必要。



鮮やかさを強調とホワイトバランス(色温度)と光の方向

- 見た目より違った色になりやすいので ピクチャーコントロール(ニコン) ピクチャースタイル(キャノン)で **色の濃さを調節**する
- **ホワイトバランス** (ふつうカメラに絵で表している Kケルビン)
 - ・**オート**カメラが光を読んで 自動で合わせる
 - ・**太陽光**太陽の光の温度に合わせる (5500K)
 - ・**曇り**曇りの光の温度に合わせる (6500 K)
 - ・**日陰**日陰の光の温度に合わせる (3700 K)
- **光を決める** (光のくる方向を読み取る)
 - ・**順光**太陽を背にしてみる紅葉、色鮮やかだがのっぺらぼう
 - ・**サイド光**.....横からの光で立体感が出る、柔らかい写真
 - ・**逆光**太陽に向かって撮る、暗くなる、ドラマチックになる
シルエットを生かす撮影

○ ホワイトバランス(ふつうは オートになっていることが多い)



・テレビ画面 10000k

- ・画面が赤っぽくなったり青っぽくなったりします。
- ・調節をすることが大切です

- ・日の入り前・日の出後2時間
- ・日の入り前・日の出後1時間

・日の出日の入り前 2200k

光の光源の色の違い

- ・光源によって感ずる色の違いがあるので 見極めて調整をする
- ・朝夕は 温かな**赤み**の色、 氷や夜空などは **青い**冷たい色
(5500Kより多く) (4500Kより少なく)

オートホワイトバランス



電球



蛍光灯



日陰



曇り



太陽光



○今度は 写真を撮る場合 色の関係を意識してカメラを向けることである

- ① 色の構成要素 ○ 色は 明度 彩度 色相によって決定される



・カラーチャート 色相環

- ・色相……赤・青・緑といった色の様相
- ・彩度……色の鮮やかさ
- ・明度……色の明るさ

○お互いに向かい合う色を配色することで 特定の色を 強調することが出来る。「補色の関係」にある という。

例えば 赤とシアン、緑とマゼンタ
青とイエロー。色を円にした場合 反対側にある色が 補色である(際立つ)

色の違いで 強調したり 同系色でフラットな画面を作る

②リズムカルなライン、グラデーション

(例として)



・紫の色と視線



・赤と青の対比

・色の組み合わせによって 印象が大きく左右される



・オレンジと緑、エメラルド(順光で)

ヒストグラム・・・画質を見る

・写真画像は 画素の集合体。画素の明るさの順番で 並べ替えたものを言います。

この山が左によるほど暗く、右にゆけば明るいことを表しています。

色飽和...表現できる色の限界を超えている鮮やかさを超えること(彩度を上げない)



画素数
↓
縦軸

明るさ → 横軸

被写体の色による 露出補正は……

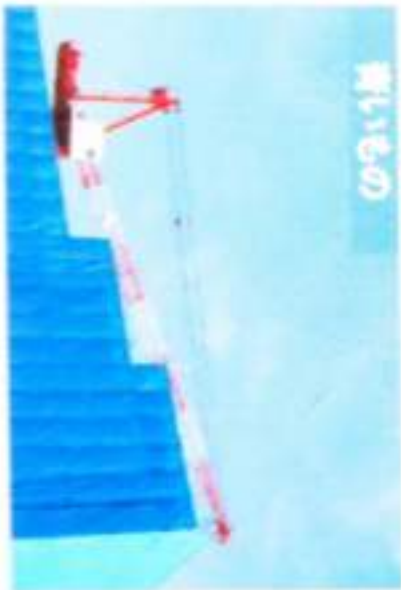
・カメラの露出計で測ったのだけれど 反射率によって 記録される色に変化あり

・空とブルーシ
トで反射率は
低く明るすぎ
るのでマイナス
補正

・太陽にすけた
葉の緑 補正は
いらぬ

・グレイの反射
率と変わらない
が明るめになる
のでマイナス補
正

・菜の花は 見た
目よりも暗い印象
になるので プラ
ス補正



ノイズ ……写真画像の劣化 粒子が荒くざらついた感じになる
ノイズの低減機能がある (ISO感度を上げすぎないこと)

- ・ISO感度を 100～400, 低い方がよい。高いと荒れる

・粒子のざらつき



ISO100で撮影 (150%拡大)



ISO6400で撮影 (150%拡大)

シャッター速度とは

○シャッター速度とは シャッターボタンを押して開き、シャッターボタンを離してシャッターが閉まるまでの時間のことです。

シャッター速度 1/250秒なら シャッターが開いて閉じるまでの時間が250分の1秒ということです。

シャッター速度 1/5なら 1/5秒 、1/8000なら 1/8000秒となります。

○シャッター速度による違い



シャッター速度 1/250秒



シャッター速度 1/50秒



シャッター速度 1/5秒

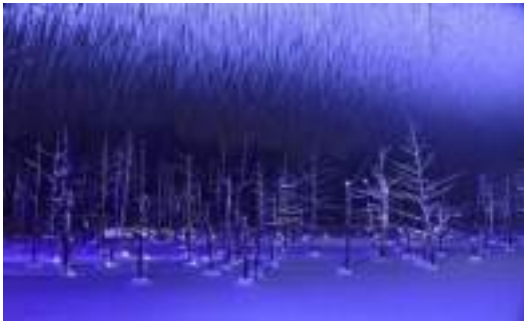


シャッター速度 1秒

NDフィルター

シャッター速度と表現の変化

- シャッタースピード？ 露出との関係あり
 - ・ **速い** → 速さが止まる 一瞬を止める
 - ・ **遅い** → 速さが流れる ぶれた状態になる
- ・ 光が強い時は ND フィルターを・・・4、8、16等
- ・ 1/30の流れは きたない よりおそく



流し撮り





28秒



30分



50分



10分

カメラの命 レンズ について

○ もっとも大切な物はレンズ……光を取り込む(取り込む対象物)
写真は「光の芸術」といわれるゆえんである

・何を 撮影の対象にするかによって……レンズが決まる

○超広角レンズ……魚眼レンズ (レンズの明るさが大切 高価)

・広角レンズ……10ミリ ~ 35ミリ (画角が広い ・3歩前に出て)

・標準レンズ……50ミリ ~80ミリ (明るく抜けがよい、人の視覚と同じ)

・中望遠レンズ……70ミリ ~ 200ミリ 300ミリ (無理なく対象物を寄せる)

・望遠レンズ……400ミリ から500ミリ (遠くのを引き寄せ圧縮効果)

○超望遠レンズ……600ミリ 800ミリ 1200ミリ など(超圧縮 引き寄せる)

・マクロレンズ……40ミリ~200ミリ前後 (等倍まで拡大)

○ズームレンズ……上のレンズのいずれでも 揃っている(近年特に多くなった)

★ 参考作品 1



・広角 24ミリ



▪標準 50ミリ



・28~300ズーム



・80~400ズーム

★参考作品 2



・120ミリ



・450ミリ



・500ミリ



・750ミリ

★ 参考作品 3



・80ミリ



・35ミリ



・200ミリ



・10ミリ

- **まずは 自分のカメラをよく知ること**
 - ・どこに どんなものがあるか
 - ・どう操作するか
 - ・何が変わるのか
- **次に 実際に撮影して その効果を確認すること**
 - ・メモなどを 取っておくと良い
- **出来た作品を自分なりに 分析すること**
 - ・感動や驚きなど 表れているか
 - ・…見る人の感覚で
- **さらに よく伝えるための 工夫や処理の方法 等は…**
- **そして ここ一番の作品を 選び出す事 選択眼を養う**



・しばらく 家庭に飾り **新鮮さを失わない飽きの来ない作品が…表現力あり!**
良い作品の地位を占める



- ◎ **沢山の作品を鑑賞すること (作品選択の眼を培う)**
 - ・カメラ雑誌
 - ・作品展
 - ・カメラ仲間
 - ・撮影旅行…

**皆様 本日は
 長い時間、お付き合いありがとうございました。**

※ お疲れになったことと思います。もし質問があればどうぞ…まとめへ

○今日のまとめ……？

○写真撮影をするということとは？

- ・楽しみながら (気づき)
- ・共に学ぶ (考え)
- ・仲間と共に (やってみる)

自然界や社会
の中で

感動・驚き？
発見・不思議
好奇心

・場所・時刻・天候・ メモしておく

撮影
記録

カメラ

作品

決定的瞬間
を捉える

・選択眼を!

通う

・様子を知る

広く伝
える

ウワア～、すごい、
びっくり、どうして？
へえ～、楽しい!

< 常に学ぶ心と
好奇心を持つ >

写真芸術へと高める
残す!